



—ここまで売り上げが順調に拡大しています。今でこそ、人手不足や待機児童問題が取り沙汰されています。前者は直営保育園の運営を中心とし、後者は医師、看護師、保育士、介護職といったつながるビジネスに取り組んできました。やはり、先見の明があつたということでしょうか？

**村越** 当社はキララサポートというブランド名で、保育サービスと人材サービスを提供しております。前者は直営保育園の運営を中心とし、後者は医師、看護師、保育士、介護職といった

いる当社ができるだけ安いコストで人材派遣サービスを提供しようと思い立ったわけです。

**結び付きが密接な医療・福祉の分野**

—当初は保育士の派遣から始まつた人材サービス事業が医療や介護の分野にも拡大していくのは、どのような経緯からなのでしょうか？

**村越** 国が待機児童ゼロを目指し、さらに東京都が認証保育所制度を導入して民間参入を促したことから、保育園という箱物の数は急増し、その裏返し

で保育士不足も深刻化しました。こうした流れを受け、当社も東京、神奈川、北海道、福岡において特定地域に集中展開するドミナント戦略で、「雲母」という名を冠した認可保育所、認証保育所の数を拡大させています。そして、保育士の派遣・紹介サービスにも力を入れてきたところ、クライアントから「看護師も紹介してほしい」という声も頂戴するようになりました。自治体によつては園内に看護師の常駐を義務付けるところもあるからです。そのうち、医師や介護職を探してほしいとの依頼

も舞い込み、そういう二ーストに応えていった結果、現在のサービス内容に至っています。医療・福祉の分野は密接に結び付いており、当社のような立ち位置の企業こそ、クライアントの要望に応じたマッチングを実現しやすいといえるでしょう。

**社員の成長こそ会社の収益となる**

—IPO（株式の新規公開）を目指しているのですが、その狙いは何でしょうか？

**村越** キヤッショフローがいつそう円滑に回つていく経営を実践することと、社員の福利厚生を充実させることが目的です。また、新卒学生向けの人材サービスにも進出するほか、アジアを中心とした海外での事業化も検討しています。そうなつてくると、当社の中でも人が足りなくなるので、さらに多くの社員を採用する必要も出できます。

常々私は、「社員の成長こそ、会社の収益となる」と社内で断言してきました。こうした考え方によるものも特徴です。くしくも安倍晋三首相が提唱される前から、当社では役職者の半数を女性が

Company Profile  
株式会社  
モード・プランニング・ジャパン  
創業年／1991年  
〒104-0061  
東京都中央区銀座6-6-5  
新日本実業銀座6丁目ビル  
TEL：03-6253-7222（代）  
http://www.m-p-j.com/

# 直営の保育園と医療・福祉分野の人材サービスを通じ万人を幸せにする

まだ待機児童の問題が深刻化していなかった頃から民間事業者として保育園の運営に乗り出す一方、保育士の派遣サービスにも進出し、現在は医師や看護師、介護職の人材サービスまで手掛けているモード・プランニング・ジャパン。さらなる成長に向けて株式の新規公開を目指している村越秀男代表取締役社長に、同社の歩みや今後の戦略について聞いた。

**村越 秀男** モード・プランニング・ジャパン 代表取締役

むらこしひでお 1965年、東京都八王子市生まれ。証券会社勤務を経て、2001年に認可外保育園（現・西東京雲母保育園）を開園。03年、保育と人材の総合支援サービス「kirara support」をスタートさせ、現在に至る。

下で、当社が運営する保育園で発生したのが突然的な保育士の欠員です。急な退職によって2～3ヶ月間だけ保育士の数が足りなくなり、慌てて求人広告を打つたのですが、一向に応募が打つたのではありませんでした。

なぜなら、求職中の保育士の大半ができるだけ働き続けたいと希望しているのに対し、当社が出た求人は期間限定のものだったからです。結局、保育士を専門とした人材派遣会社に依

頼してどうにか欠員を補充したのですが、料金がかなり高額だったことに不満を抱きました。当時、保育士に特化した人材派遣を手掛けていたのがその会社だけだったせいかもしれません。その一方で、保育園は自治体から助成金を受けて運営しているので、人手不足は絶対に許されません。だから、当社のようないくつかの問題は少くないはずだと考えました。そこで、保育の現場に精通して

Prime Time 経営者は語る

—ここまで売り上げが順調に拡大しています。今でこそ、人手不足や待機児童問題が取り沙汰されています。前者は直営保育園の運営を中心とし、後者は医師、看護師、保育士、介護職といったつながるビジネスに取り組んできました。やはり、先見の明があつたということでしょうか？

**村越** 当社はキララサポートというブランド名で、保育サービ

スと人材サービスを提供しておられます。前者は直営保育園の運営を中心とし、後者は医師、看護師、保育士、介護職といったつながるビジネスに取り組んできました。やはり、先見の明があつたということでしょうか？

余剰傾向にあって、保育園も選び手有利の状況だったのです。しかし、以降は子どもを産んでからも働き続ける女性が増え始め、少しずつ需給関係が崩れていきました。そのような状況は、04年ころまで保育士の数は決して順風満帆な道のりを歩んできたわけではありません。実は東京雲母保育園（現・西東京雲母保育園）を開園したのが当社の保育事業の発端ですが、



それぞれの保育園常駐の管理栄養士が、各園独自のメニューを提供する